

登録番号
MQ-02

名称

令和 7 年度 SU25A01 試験研究計画書に係る業務マニュアル

起案部門

経営管理室

改訂記号		発行日	承認	確認	起案
新規制定 Rev1.1		2025 年 7 月 1 日	田島郁男		真野正敏
改 訂	Rev1.1	2025 年 7 月 10 日	田島郁男		真野正敏
	Rer1.2	2025 年 12 月 2 日	田島郁男		安田誠一

特定非営利活動法人知恵と考働

1. 目的

本マニュアルは、農林水産省スタートアップ事業：スタートアップ総合支援プログラム(SBIR 支援)フェーズ0 試験研究計画書(SU25A01)に基づき、研究活動とそれに伴う経費執行を適正に実施・管理するための基準を定める。その目的は、①公的資金を適正に使用し、不正や誤用を防止するため、②国への説明責任を果たし、外部監査に対応するため、③組織内部の透明性と効率性を高め、プロジェクトの信頼性を確立するためである。

2. 範囲

本マニュアルで対象とする範囲等は、令和7年度(令和7年7月1日～令和8年3月31日)SU25A01試験研究計画書に係る業務に関連する範囲であり、それ以外は、対象としない。対象とする範囲は、次のとおりとする。

(1) 業務範囲

- ・研究業務(研究開発、実験、評価、成果整理等)
- ・経費執行業務(人件費、物品購入、外注、旅費、間接経費等)
- ・記録・証憑管理業務(契約書、領収書、作業日報、勤怠記録等)
- ・実績報告業務(国への実績報告書、収支報告書の作成等)

(2) 文書等保管範囲

- ・SU25A01に関連する文書書領収書等の保管ファイルは、①印刷された文書および請求書・領収書等は、適切なフォルダあるいは保管用袋等に収納し、監査時には、直ちに該当文書等を検索し示すことが可能な状態で維持管理する。フォルダー等は、背表紙・袋等に「SU25A01」を大きく明示し、他の業務との区別を行う。
- ・印刷せずに電子データとして保管等をする場合は、システム・PC等の操作マニュアルを作成し、データ保管箇所等を明らかにして、データ保管を行う。

3. 方針

本マニュアルは、生研支援センターが発行する下記の方針を遵守することを誓って行うことを宣言するものである。

(1) 委託業務の経理処理における基本原則

- ①経費計上は、SU25A01 委託業務に直接必要なものに限る。
- ②経費計上は、委託業務実施期間中に発生したもの(令和7年7月1日～令和8年3月31日)
- ③SU25A01 委託費は、他の委託費等と混同して使用しない。
- ④経費の使用に際しては、経済性や効率性を考慮した調達を行う。
- ⑤従事日誌等は、正しく記載する。

(2) 研究費の不正使用の禁止

過去の不正使用の以下の事例を参考にして、不正使用禁止の啓蒙を図る。

- ①研究者がカラ雇用、架空請求を行った。
- ②人件費の過大計上、証拠書類の作成手順を違反等を行った。
- ③助成期間外の費用を期間内として計上を行った。

4. 体制

- (1) 別紙3で登録した研究者等は、非営利活動法人知恵と考働（以下、当法人）と雇用締結をしている。業務の内容等は、記載のとおり。研究開発に従事した者は、研究活動等の作業日報、業務月報を提出する。当法人は従事時間を乗じた額を給与（人件費）として支払う。研究開発の項で記載する方法で、正確な従事報告書、成果報告書の作成と報告を求める。

【別紙-1：労働条件通知書兼雇用契約書】

(2) 体制

SU25A01 を基に活動し、運営管理等を行う体制と業務分担、責任体制は、下表のとおり。

氏名	所属/役割	役割と責任	備考
田島郁男	代表理事	・当法人の代表 ・その他 SU25A01 活動に係る業務支援	
真野正敏	経営管理室	・代表理事の補佐業務 ・SU25A01 活動に係る業務管理全般	
安田誠一	研究開発部	・技術開発と技術管理 ・外注管理と購買管理 ・情報管理責任者	
真野和子	経理課/担当	・研究補助 ・経理	

5. 研究開発

- (1) 研究開発は、SU25A01 に明記された研究項目を行う。その研究開発を行うにあたり、SU25A01 別紙3「研究項目別の従事者」に登録された研究者は、年度目標に対して、研究項目の方向性を合わせながら、成果が出せるように努力をしなければならない。また、他の研究項目との情報交換を定期的にまた随時行うことにより、全体としての有機的で、歩調を合わせた活動を心がける。
- (2) 2カ月に1回程度の頻度で開催される生研支援センターの進捗報告会には、具体的な成果を真摯に報告すると同時に、課題とその課題解決策も報告しなければならない。具体的な成果報告としては、研究項目別の目標が設定されているが、その途上においても、適切なタイミングと区切り等を研究者が考えて、技術報告書として提出が望ましい。研究項目別では、第4四半期頃には、研究項目別の成果報告書の作成と提出は、必須となる。
- (3) 研究活動は、原則日別に管理を行うこととするが、研究内容等から、1日の中で、異なる課題を行う場合がある。そのため、別紙で規程する「業務月報」と「作業日報」をSU25A01 専用の書式として設定し、課題別に開始時間、終了時間、その間で除外すべき時間（食事、休憩、トイレ等の除外すべきものの一切）、具体的な成果、作成ドキュメント等を具体的に記載する。各々の書式と記載事例を別紙で示す。【別紙-2：業務月報、別紙-3：作業日誌】
- (4) 「業務日報」（印刷した原本）は、従事した時間と具体的な研究活動内容等を人件費計上するための帳票となる。記載事例を基として、正確に記載し、月末で締めて、翌月5日までに、管理者に提出する。管理者は、内容精査し、承認等を行い、経理部門へ提出する。なお、業務日報と作業日報のデータは、GoogleDriveの指定場所に保存を行う。これらの承認済みの印刷した原本は、経理担当が保存する。保存年数は、事業終了後5年間とする。

- (5) 「作業日報」は、業務日報の内容を詳細に報告をするものである。具体的な成果とは、目標に対して推進させる時、昨日よりも前進したり、変化することを意味する。課題を発見することも、成果の一つである。課題解決を行うことで、前進がある。その変化具合を成果として捉え、作業日報に記載をする。管理者は、その作業日報を確認するとともに必要に応じて研究者と確認と助言等を行う。
- (6) 研究開発の時間管理単位は、原則 15 分単位とする。
- (7) 研究者の研究する場所は、原則当社の開発センター（松本市野溝西開発センタ 5 号室）とするが、自宅あるいは現地での研究活動を認める。研究活動した場所は、業務月報の指定欄で記載する。
- (8) 研究者が活動を進める時、試験研究計画書に記載した内容に対して、何らかの理由で改訂をすることが必要になった場合は、管理者等と協議し、具体的な対応をとることが必要である。計画書の変更が必要な場合は、指定書式により生研支援センターに予め事前相談を経たのち、申請書等を提出する。承認が下りたのち、具体的な活動に入る。

6. 購買（発注・検収）

(1) 基本原則

- ・設備備品費、消耗品費、外注費、間接経費など、全ての支出は 事前承認 を必要とする。
- ・個人による現金立替・レシート精算は禁止し、必ず請求書に基づき法人が直接支払う。
- ・支払は 法人指定口座からの振込（インターネットバンキング）に限定する。

(2) 購買手続

- ①購入者は、購入希望リストを作成し、承認者に申請する。指定書式を用いる。
- ②単価 3 万円以上のものは、見積書に相当する情報等を添付し、同時に合い見積もりを購入先から提示させるか、あるいは購入者が調べた比較情報を添付し、購入の妥当性を示す。
原則、B2B 掛け払い制度を設定している業者から購入をする。
- ③代表理事は、計画との整合性、予算内等を確認し、承認をする。
- ④発注は、研究者本人ではなく、法人名義で発注を行う。
- ⑤購入申請者は、納入品の確認を行い、検収を正しく行う。検収は、購入申請者自身が行い、検収年月日を明記する。
- ⑥月末締め、翌月払いを、経理担当は、検収通知を確認して、法人指定口座から振り込みを行う。経理では、指定書式（別紙-4：購買・検収管理伝票（SU25A01））を保管し、事業終了後 5 年間保存する。 【別紙-4：購買・検収管理伝票（SU25A01）】

(3) 購買先の選定と具体的な業務の流れ

SU25A01 に関連する部材、部品等の購入に関しては、購買の選定と具体的な業務の流れ等を、「SU25A01 に関連する購買管理サブ規程」で定める。本マニュアルとの差異がある場合「SU25A01 に関連する購買管理サブ規程」が優先する。

7. 経理（伝票入力、PC 入力等） 購買管理業務

購買申請から発生する業務の流れと具体的な業務内容等は、次のとおりとする。月末締め、翌月末現金支払いとする。インターネットバンキングによる指定口座への振り込みとする。

- (1) 購買申請・発注：購買希望者は、指定購買管理伝票に必要事項を記載し、上司に提出する。
- (2) 上司は、内容の整合性を確認し、承認をする。購買管理伝票を購買申請者に戻す。
- (3) 購買申請者は、発注先に対して、購買伝票を電子メール等で送付し、法人名義で発注を行う。

- (4) 発注先業者の納入品に対して、購買申請者は、品質・価格・数量等を確認し、検収を行う。購買担当者名と、検収日を記入する。検収伝票は、A4 用紙の上下 2 段として、上部は社内控え用、下段は、切り取って納入業者に渡す。控用、納入業者用の指定エリアには、管理識別のために、同一番号を印字しておく。
- (5) 購買申請者は、検収伝票を直ちに上司あるいは代表理事へ回付する。受領した伝票は、内容確認後、承認の署名あるいは承認印鑑を捺印する。経理担当へ伝票を回付する。
- (6) 経理担当は、経理処理を行う。
- ①会計ソフト (ee 会計ソフト) に仕分け入力を行う。
 - ②経理担当は、インターネットバンキングにより、当社指定口座 (松本信用金庫本店営業部 0666365 番号) から支払いを行う。なお、当口座に支払うための現金がなく支払いを行えない場合は、代表理事の承認 (理由書等の作成を行い承認を書面で行い、記録を残す) のもと、他の口座からの支払いを認める。
 - ③納入業者からの領収書を請求書 (購買申請書他) とセットにして、保存する。
 - ④保存年数は、事業終了後 5 年間とする。
 - ⑤経理業務は、事業年度の期間は、代表理事が指定する場所とする。令和 7 年度は、代表理事、経理担当の事務所 (長野県安曇野市豊科高家 6 7 8 5 番地) で行い、関係する伝票等の保管場所も同場所とする。なお、事業年度終了後、翌年 6 月末に長野県工業技術総合センター第 5 号室とする。

7. 経理 (伝票入力、PC 入力等) 業務月報管理業務

別紙 3 に登録されている研究従事者は、業務月報を適切に作成し、管理者へ提出する。この一連の業務の流れと手順等を以下のとおり規程する。

- (1) 業務月報の提出：別紙 3 に登録されている研究従事者は、第 5 項研究開発の項で規程した内容で、管理者の承認を得た後、経理担当へ業務月報が回付されてくる。
- (2) 雇用条件通知書で規程したとおり、月末締め翌月末払いとする。研究従事者は、当月の作業日報と業務月報を、翌月 5 日までに、管理者に提出する。管理者は、内容を確認し、経理担当へ 7 日までに回付する。【〇月 7 日】 (仕訳事例：(借方) 人件費 300,000/ (貸方) 預り金 (源泉徴収税) 15,000 (借方) 未払い費用 (給与手取額) 285,000)
- (3) 経理担当は、仕訳伝票入力を行う。人件費と源泉税の確定を行い、源泉徴収額を松本税務署に 10 日までに源泉徴収税を納付する。【〇月 10 日】 (仕訳事例：(借方) 預り金 (源泉所得税) 15,000/ (貸方) 普通預金 15,000)
- (4) 翌月末日に、研究従事者の指定口座に振り込みを行う。【〇月 30 日】 (仕訳事例：(借方) 未払費用 (給与手取額) 285,000/ (貸方) 普通預金 285,000)
- (5) 業務月報と作業日報 (印刷原本) は、経理担当が保存する。保存年数は、事業終了後 5 年間とする。

8. 制定・改廃

この業務マニュアルの制定・改廃は、経営管理室が起案し、業務執行社員の審議を経て、代表社員が承認する。

9. 実施

このマニュアルは、2025 年 7 月 1 日より実施する。

労働条件通知書 兼 雇用契約書

事業所名：特定非営利活動法人 知恵と考働

所在地：〒390-0822 長野県松本市神田一丁目27番34号

代表者名：代表理事 田島 郁男

次のとおり、労働条件を明示します。

1. 契約期間

自：令和7年7月1日 至：令和8年3月31日

(更新の有無：有り。更新する場合は令和8年3月31日までに協議の上、別途定める)

2. 就業の場所

〒399-0006 長野県松本市野溝西1-7-7 長野県工業技術総合センター環境・情報技術部門管理棟内
松本研究室 第5号室 または指定する開発拠点

3. 業務の内容

研究業務、研究開発業務、研究補助業務等

(必要に応じて資料整理、データ入力、会議準備等を含む)

4. 労働時間・休憩・休日

・フレックスタイム制を適用する。始業および終業の時刻は労働者の決定に委ねる。

・1週間の所定労働時間は20時間未満とする。

・1か月の賃金は88,000円未満とする(実労働時間に応じて算定)。

・休日・休憩時間については、業務の進行に支障ない範囲で労働者が自主的に決定する。

5. 賃金

基本給：時給2,500円(通勤手当を含む)

支払方法：毎月末締、翌月末日払い、銀行振込

その他：賞与・退職金なし

6. 昇給・賞与

昇給：なし 賞与：なし

7. 加入保険

労災保険：適用あり

雇用保険：週20時間未満の場合は不適用

社会保険(健康保険・厚生年金)：賃金・時間が基準未満のため適用なし

8. 契約解除・退職

本人から退職を希望する場合は、30日前までに申し出ること。

【本人確認欄】

上記内容を確認し、労働条件として同意します。

令和7年7月1日

労働者氏名：安田 誠一

住所：長野県松本市清水2JA9-15-502

ラフィネー清水グレスフォート

使用者(事業主)：特定非営利活動法人 知恵と考働

代表理事 田島 郁男

業務月報

(別紙3「研究項目別の従事者」に登録されている方専用の業務日誌)

従事者		2025年度 (令和7年度)	試験研究計画書		課題番号: SU25A01		単価			
			別紙4研究課題の実施項目の構成、目標と成果				・業務報酬	2,500	円/時間	
							・ガソリン代	625	円/ユニット	
								25	円/km	
ぶどう栽培の摘粒・ジベレリン処理作業の省人化及び最適化を追求するスマート農業統合システム							脚注: ユニットは、15分			
報告期間 2025年度0月度 (1日~0日)										
日	曜日	活動明細 (作業日報は、必ず記載すること)	開始時刻	終了時刻	時間	実施場所 時間U	実施場所 距離km	備考	報酬額 (円)	通勤費 (円)
		5: 房検出技術(RTK-GNSS、画像認識) (活動内容の概要を記載し、別紙の作業日報に詳細記載)	8:30	14:25	5:55	場所	開発センタ			
		報告書/議事録作成 (開始~終了)	14:35	15:00	0:25					
		除外すべき時間 (分で入力)	140							
		交通費精算	備考欄に移動方法を明記し、証憑 (領収書、ETC明細)を別途添付							500
		小計			4:00				10,000	
		(活動内容の概要を記載し、別紙の作業日報に詳細記載)			0:00	場所	自宅事務所			
		報告書/議事録作成 (開始~終了)			0:00					
		除外すべき時間 (分で入力)								
		交通費精算	備考欄に移動方法を明記し、証憑 (領収書、ETC明細)を別途添付							0
		小計			0:00				0	
30	土	(活動内容の概要を記載し、別紙の作業日報に詳細記載)			0:00	場所	自宅事務所			
		報告書/議事録作成 (開始~終了)			0:00					
		除外すべき時間 (分で入力)								
		交通費精算	備考欄に移動方法を明記し、証憑 (領収書、ETC明細)を別途添付							0
		小計			0:00				0	
31	日	(活動内容の概要を記載し、別紙の作業日報に詳細記載)			0:00	場所	自宅事務所			
		報告書/議事録作成 (開始~終了)			0:00					
		除外すべき時間 (分で入力)								
		交通費精算	備考欄に移動方法を明記し、証憑 (領収書、ETC明細)を別途添付							0
		小計			0:00				0	
		(活動内容の概要を記載し、別紙の作業日報に詳細記載)			0:00	場所	自宅事務所			
		報告書/議事録作成 (開始~終了)			0:00					
		除外すべき時間 (分で入力)								
		交通費精算	備考欄に移動方法を明記し、証憑 (領収書、ETC明細)を別途添付							0
		小計			0:00				0	
		(活動内容の概要を記載し、別紙の作業日報に詳細記載)			0:00	場所	自宅事務所			
		報告書/議事録作成 (開始~終了)			0:00					
		除外すべき時間 (分で入力)								
		交通費精算	備考欄に移動方法を明記し、証憑 (領収書、ETC明細)を別途添付							0
		小計			0:00				0	
		(活動内容の概要を記載し、別紙の作業日報に詳細記載)			0:00	場所	自宅事務所			
		報告書/議事録作成 (開始~終了)			0:00					
		除外すべき時間 (分で入力)								
		交通費精算	備考欄に移動方法を明記し、証憑 (領収書、ETC明細)を別途添付							0
		小計			0:00				0	

業務月報

(別紙3「研究項目別の従事者」に登録されている方専用の業務日誌)

従事者		2025年度 (令和7年度)	試験研究計画書 別紙4研究課題の実施項目の構成、目標と成果	課題番号: SU25A01	単価					
					・業務報酬	2,500	円/時間			
					#	625	円/ユニット			
					・ガソリン代	25	円/km			
ぶどう栽培の摘粒・ジベレリン処理作業の省人化及び最適化を追求するスマート農業統合システム					脚注: ユニットは、15分					
報告期間		2025年度〇月度(1日~〇日)								
日	曜日	活動明細 (作業日報は、必ず記載すること)	開始時刻	終了時刻	時間	実施場所 時間	実施場所 距離km	備考	報酬額 (円)	通勤費 (円)
		(活動内容の概要を記載し、別紙の作業日報に詳細記載)			0:00	場所	自宅事務所			
		報告書/随時録作成(開始~終了)			0:00					
		除外すべき時間 (分で入力)								
		交通費精算	備考欄に移動方法を明記し、証憑 (領収書、ETC明細)を別途添付						0	
		小計			0:00				0	
		(活動内容の概要を記載し、別紙の作業日報に詳細記載)			0:00	場所	自宅事務所			
		報告書/随時録作成(開始~終了)			0:00					
		除外すべき時間 (分で入力)								
		交通費精算	備考欄に移動方法を明記し、証憑 (領収書、ETC明細)を別途添付						0	
		小計			0:00				0	
		(活動内容の概要を記載し、別紙の作業日報に詳細記載)			0:00	場所	自宅事務所			
		報告書/随時録作成(開始~終了)			0:00					
		除外すべき時間 (分で入力)								
		交通費精算	備考欄に移動方法を明記し、証憑 (領収書、ETC明細)を別途添付						0	
		小計			0:00				0	
合計									10,000	500
									10,500	
上記のとおり勤務実績を報告します。 作業(業務)従事者 氏名			左記の者について、上記業務に従事したことを確認しました。 雇用責任者等							

作成者：(氏名を書いてください)

別紙-3

作業日報（毎日、行った業務・作業等を作業日報として、以下記載をお願いします。連続して、記載をしてください。）

年月日	様式（SU25A01_1）/（具体的な活動内容記載）の内容を含めて、出来る限り詳細に作業日報として、記載をお願いします。	・具体的な進展、・具体的な成果、・新たな課題等を output として記載。	備考 （報告書番号 等文書等の識別管理番号を記載）その他メモ
2025 年〇月 ●日（〇）			

表の行の幅、高さ等は、自由に調整して、使ってください。ファイルは、ABSC 業務日誌・作業日報

購買・検収管理伝票(SU25A01)

管理番号	①②③④⑤⑥-⑦		起案時の年月日をベースとする：①=R、②=令和年、③~⑥=月、日⑦=1~			
申請者	氏名：		所属：			
購入品目	品名	仕様	単価	数量	金額	備考
購入理由・用途	購入理由（研究項目）：		用途：			
起案 確認 承認	区分	起案	確認	承認	備考：	
	日付					
	署名					
発注先	会社名：		住所：		電話番号：	
発注者 発注年月日	発注担当者：		発注年月日：		備考：（法人名義で発注のこと）	
検収	検収年月日	検収者	備考： 数量確認：□良 □不良 品質確認：□良 □不良			
経理	伝票入力 年月日	経理担当	備考：（月末締・翌月末払い）			
備考						

特定非営利活動法人知恵と考働